

詳 細 設 計 照 査 要 領

平成 26 年 11 月

茨城県農林水産部林業課

目 次

詳細設計照査要領の概要	1
詳細設計照査フローチャート	4
山腹工詳細設計	5
治山ダム詳細設計	14
護岸・流路工詳細設計	21
海岸防災林詳細設計	28
保安林整備詳細設計	35
道路詳細設計（小構造物を含む）	42
道路詳細設計（平面交差点，小構造物を含む）	57
橋梁詳細設計	67
共同溝詳細設計	80

詳細設計照査要領の概要

1. 本照査要領の目的

(1) 成果品の品質向上

社会資本整備を推進するうえで、建設コンサルタント業務の成果は、最も基礎的で重要な要素であり、その精粗が事業の完成に重大な影響を与えることになる。成果品の品質向上を図り、正確性を確保するために、本照査要領を活用することにより設計の主要事項を系統的に把握できるとともに、迅速な照査が可能となる。

(2) 担当技術者の資質向上

業務量の増加、業務内容の複雑化・多様化が進む一方で、担当技術者の不足、相対的な資質の低下が懸念されており、本照査要領を活用することを通して、照査のポイント取得が可能であり、技術者の資質の向上に寄与する。

(3) 基本事項の統一による照査の効率化

本照査要領は、茨城県農林水産部林業課の発注機関は全て本要領に基づいた照査を受注者に義務づけるものとするため、基本事項の統一により照査の効率化を図ることが可能である。

2. 本照査要領の特徴

(1) 設計の自由度の尊重

設計の自由度を尊重するため、設計マニュアル（基準）的なものではなく、設計の基本に関する事項を体系的に記載し、各事項に対応する照査の完了を一目で把握できるものとしている。従って、照査手段、諸基準等との関連をはじめとする具体の照査内容については受注者の判断によるものとなる。

(2) 段階的照査の実施による業務推進の円滑化

業務の主要な段階毎に、照査状況を打合せ等を通して発注者に報告することを手続きとして標準化しており、これにより、設計条件等発注者からの与条件の取り違い等が発見しやすくなり、条件設定ミス等による業務の手戻り発生を防止することができる。

3. 対象とする工種

本要領で取り扱う対象工種は、以下に示す工種である。

- 【治山】 山腹工詳細設計
治山ダム詳細設計
護岸工・流路工詳細設計
海岸防災林詳細設計
保安林整備詳細設計
- 【林道】 道路詳細設計（小構造物を含む）
道路詳細設計（平面交差点，小構造物を含む）
橋梁詳細設計
共同溝詳細設計

4. 内容の構成

本要領の構成は、対象とする全ての工種については、以下に示す内容で構成されている。

- ①詳細設計照査フローチャート
- ②照査項目一覧表

(1) 詳細設計照査フローチャート

詳細設計委託業務の契約から完了までの流れを照査の観点から整理したものであり、受注者が実施する照査の主要な区切りと発注者・受注者双方の照査との関連を明示したものである。各工種とも基本的には同一の流れとなるため、基本フローをP 4に掲載した。

(2) 照査項目一覧表

照査フローチャートに従って、設計の主要な区切り毎に受注者が実施すべき基本的照査項目を一覧表に整理したものである。作成は主要な区切り（3段階）毎に行うものとし、作成の手順は以下のとおりとする。

- ① 業務内容から判断して当該対象項目を抽出し、「該当対象欄」に○印を付す。
- ② 照査を完了した項目について「確認欄」に○印及び日付を記入する。
- ③ 提示資料欄には、点検の確認に必要な業務計画書，現地写真，図面，数量計算書，設計計算書等の名称を記入する。
- ④ 照査技術者及び監理技術者の確認を受ける。（確認印）
- ⑤ 発注者に提出し，照査状況の報告を行う。

又，上記⑤の提出に際しては，必要に応じて，提示資料欄に記載された資料，各種検討書等を別添添付として添付するものとする。

5. 用語の定義

(1) 照査

受注者が設計業務の完了までに行う、発注条件、設計の考え方、構造細目等のチェック及び技術計算等の検算であり、本照査要領に記載された照査項目は標準的と判断する設計の基本事項である。

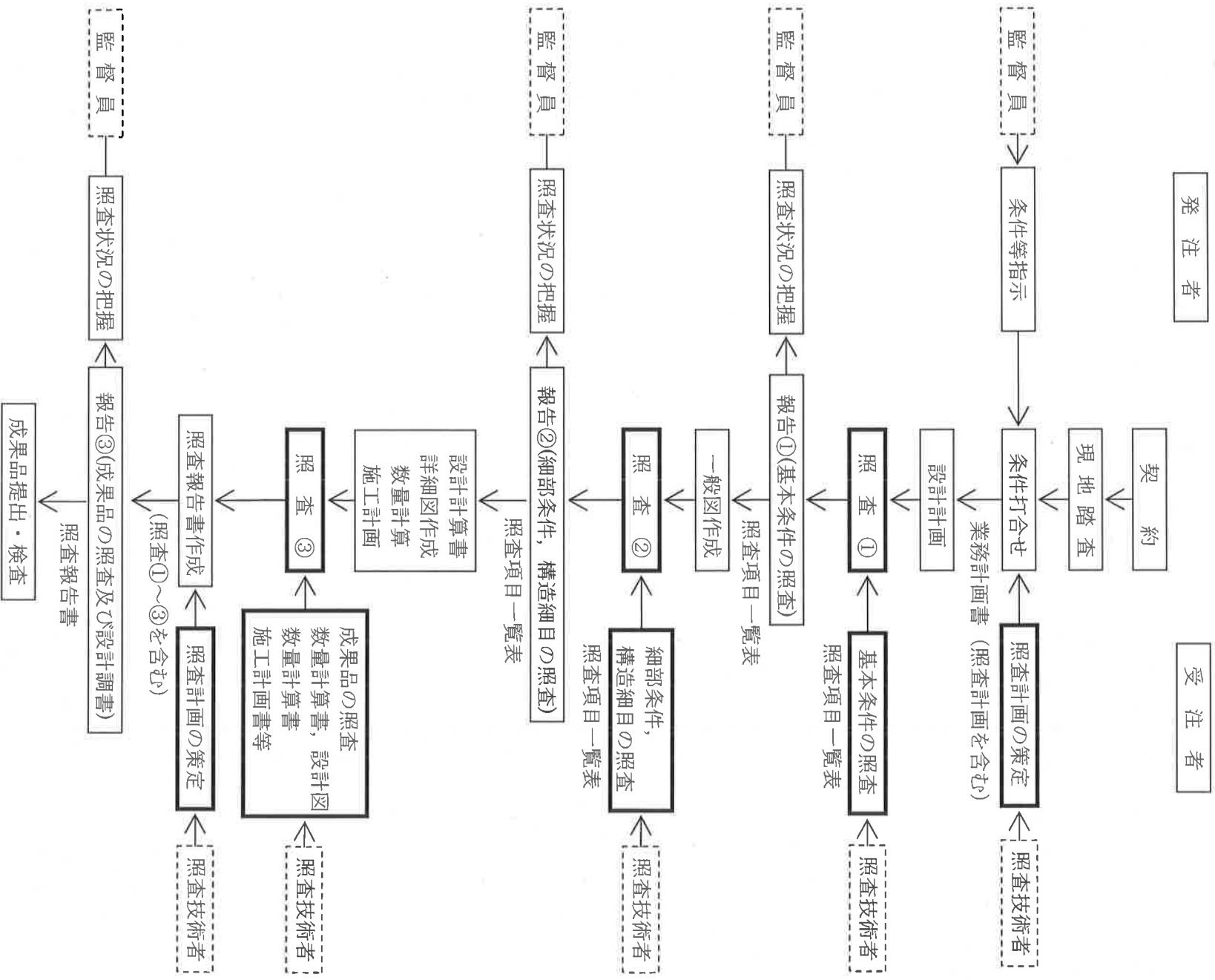
(2) 照査状況の把握

監督員が設計業務の完了までに行う、業務履行状況の把握の一部である。なお、監督員が成果品の品質について適否を判断するものではないので留意すること。

6. その他記載等にあたっての留意事項

- (1) 各照査段階において、照査内容が未定であったり、一度で確認が済まない場合や条件決定が順不同となる場合は、確認が済んだ事項に○印と日付を記入し、未確認の事項が明確になるように徹底すること。
- (2) 照査項目の中に、複数の確認事項がある場合（例えば関係機関協議が複数ある場合）は、必ず備考欄又は別紙を用いて確認済み項目が分かるようにすること。
- (3) 照査内容の項目が漠然としており、発注者の認識と異なる恐れがあると判断する場合は、備考欄等を用いて具体の確認項目を明示すること。
- (4) 業務内容、規模、重要性等により、照査内容項目を追加する必要がある場合等は、適宜項目を追加するものとする。また、予備設計や修正設計に本照査要領を活用する場合は、必要な照査内容項目を抽出して照査すること。
- (5) 茨城県農林水産部林業課発注の業務においては、照査報告書に本照査要領に基づき作成した資料を添付すること。
- (6) 設計調書等 A 4 判サイズでは記入困難な場合は、A 3 判に拡大して記入すること。

詳細設計照査フローチャート



注 記 ※行程に関わる照査・報告①②③の時期は、業務計画書提出時に
打合せにより設定する。

受注者が実施する照査関連事項

山腹工詳細設計
基本条件の照査項目一覧表
(照査 ①)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

山腹工

No.	項目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	業務目的, 設計範囲等	1) 業務の目的, 実施箇所及び設計の範囲等を理解しているか。 2) 全体計画がある場合, 計画に準じて業務が遂行されるか。 3) 業務の主な作業, 工程等について把握しているか。				
2	基本条件等	1) 計画する構造物の目的, 型式及び種別等を理解しているか。 2) 設計単位は, SI単位系を使用しているか。 3) 安定計算の計算方法, 許容値等は確認しているか。 4) 落石対策工の選定は, 「工法選定フロー」によって行われるか。				
3	資料等の確認	1) 貸与資料に不足・追加する事項があるか。 2) 森林整備保全事業設計積算要領, 治山技術基準等の内容を理解しているか。 3) 使用する資料は最新版となっているか。 4) 既存資料（山地災害危険地区調査票, 治山台帳等）を確認しているか。 5) 過去の災害等を確認しているか。				
4	現地踏査	1) 地形, 地質及び転石等の現地状況を把握しているか。 2) 斜面（近隣斜面含む）の崩壊状況を把握しているか。 3) 湧水状況を把握しているか。 4) 樹木, 植生等の状況を把握しているか。 5) 保全対象を把握しているか。 6) 既設構造物等の状況を把握しているか。 7) 支障となる物件等の状況を把握しているか。 8) 用地の境界, 他法令に係る区域等を確認しているか。 9) 周辺の土地利用状況を把握しているか。 10) 施工ヤード等に利用可能な箇所を把握しているか。 11) 景観状況（配慮の必要がある場合）を把握しているか。				
5	関連機関等との調整	1) 他の工作物管理者との調整内容を理解しているか。 2) 地元及び地権者との調整内容を理解しているか。				
6	環境等への配慮	1) 環境に対する配慮の必要性, 方針, 内容, 範囲等を理解しているか。 2) 環境配慮の具体的方法, 作成すべき資料等を把握しているか。				

山腹工詳細設計
細部条件の照査項目一覧表
(照査②)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－2）

山腹工

No.	項 目	主 要 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	主要図面	1) 平面図（法線，取付等）は適切か。 2) 縦・横断面図は適切か。 3) 基本条件等との整合がとれているか。 4) 既設，次年度以降の計画及び他所管構造物等との関連は適切か。				
3	使用材料	1) 使用する材料に制約はあるか。 2) 現地材の利用の可能性を検討しているか。 3) 使用材料の規格は基準と合致しているか。 4) 木材の積極的な利用を検討しているか。 5) 再生資材の利用を検討しているか。				
4	基本事項	1) 対策工の検討範囲は適切か。 2) 中心線の位置は適切か。 3) 想定される崩壊の形態と要因は確認しているか。 4) 標準法面勾配等，斜面の安定検討に必要な条件を検討しているか。 5) 使用可能な機械等，施工条件は確認しているか。 6) 対策工法の比較検討は適切か。 7) 対策工法，工種配置計画は適切か。 8) 既設構造物等と整合しているか。 9) 施工条件から仮設計画等の必要性を検討しているか。 10) 運搬路等，工法に影響を与える現場条件を確認しているか。				
5	法切工・切土工	1) 施工範囲の設定は適切か。 2) 勾配設定は現地状況等を考慮し，決定しているか。 3) 法切土砂の処理方法は適切か。 4) 端部の擦りつけは適切か。 5) 特殊条件（湧水，土質等）を考慮しているか。 6) 施工方法に配慮しているか。				
6	土留工	1) 設置目的は適切か。 2) 種別の選定は適切か。 3) 位置，高さ及び方向は適切か。 4) 土留工の平面法線は現地形に沿っているか。 5) 断面決定は適切に行われているか。 6) 安定条件は満たされており，経済性も検討されているか。 7) 水抜き配置等は，治山技術基準及び現地状況を考慮しているか。				

細部条件の照査項目一覧表（様式－2）

山腹工

No.	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
	土留工	8) 裏込は設けているか。 9) 湧水等への配慮がされているか。 10) 景観に配慮しているか。 11) 施工方法に配慮しているか。				
7	水路工	1) 目的及び必要性は適切か。 2) 種別は現地状況を考慮し、検討されているか。 3) 水路の線形（平面線形、縦断線形）は検討されているか。 4) 通水断面は適切か。 5) 漏水、溢水及び跳水のおそれがない構造か。 6) 流末処理は適切か。 7) 施工方法に配慮しているか。				
8	暗渠工	1) 目的及び必要性は適切か。 2) 設置箇所は適切か。 3) 構造及び勾配は、現地状況を考慮し決定しているか。 4) 集水した水の処理は適切か。 5) 施工方法に配慮しているか。				
9	法枠工	1) 設置目的は適切か。 2) 種別及び構造は、現地状況を考慮し検討されているか。 3) 安定条件は満たされており、経済性も検討されているか。 4) 施工範囲の設定は適切か。 5) 法肩部の処理方法は適切か。 6) 端部は地山に擦りつけているか。 7) 中詰工の選定は、現地状況に応じて選定されているか。 8) 基礎工の必要性について検討されているか。 9) 施工方法に配慮しているか。				
10	山腹緑化工	1) 種別の選定及び配置は、現地状況を考慮し決定しているか。 ※ 国定公園、県立自然公園等の場合、草本類・木本類の選定は現地状況を考慮し決定しているか。				
	柵工・筋工	1) 種別、資材及び防腐処理等は、現地状況を考慮し決定しているか。 2) 設置間隔は現地状況を考慮し決定しているか。				
	伏工	1) 目的及び必要性は適切か。				
	実播工	1) 工種は現地状況を考慮し決定しているか。 2) 施工方法に配慮しているか。				

細部条件の照査項目一覧表（様式-2）

山腹工

No.	項目	主 要 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
	植栽工	1) 目的は適切か。 2) 樹種選定は、現地状況を考慮し決定しているか。 3) 植栽本数は、現地状況を考慮し決定しているか。 4) 主林木と肥料木の割合は適切か。 5) 植栽箇所の選定は適切か。				
11	落石予防工	1) 設置目的は適切か。 2) 種別の選定及び配置は現地状況を考慮し決定しているか。 3) 落石防護工との併用が検討されており、適切な工種及び施工規模になっているか。				
	斜面切取工	1) 斜面切取の範囲及び切取り勾配は適切か。				
	転石整理工	1) 施工範囲は適切か。 2) 転石整理の方法は現地状況を考慮し決定しているか。 3) 仮設工は現地状況を考慮し決定しているか。 4) 整理後の転石処理は適切か。				
	被覆工	1) 被覆工の選定は、現地状況を考慮し決定しているか。 2) 法枠工は現地状況を考慮し決定しているか。 3) 吹付工は現地状況を考慮した吹付厚となっているか。 4) 緑化の可否について十分検討され、適切な吹付の種別が選定されているか。				
	固定工	1) 種別の選定は、現地状況を考慮しているか。				
	ロープ伏工・掛工	1) ロープ伏工・掛工を行う範囲は適切か。 2) 斜面勾配の計測箇所は適切か。 3) アンカーの種別選定は現地状況を考慮し決定しているか。 4) ロープ伏工・掛工の規格選定は適切か。				
	接着工	1) 岩種及び風化状況を考慮し決定しているか。 2) 仮設工は現地状況を考慮し決定しているか。 3) 数量の算出方法は適切か。				
	落石防護工	1) 設置目的は適切か。 2) 種別の選定は適切か。 3) 位置は現地状況を考慮し決定しているか。 4) 高さは予測される落石の跳躍高を想定し決定しているか。 5) 断面等の決定は適切か。				

細部条件の照査項目一覧表（様式-2）

山腹工

No.	項目	主 要 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
	森林造成	1) 森林状況を確認し、必要な森林造成計画となっているか。 2) 植栽樹種は落石・崩壊対策に適した樹種となっているか。				
12	施工計画	1) 施工方法、手順は適切か。 2) 運搬路、仮設道及び施工ヤード等の確保を検討しているか。 3) 附帯工として計画する工種はあるか。 4) 樹木、植生等への影響を配慮しているか。 5) 騒音、振動、排ガス、汚濁水等の影響を配慮しているか。				
13	コスト縮減	1) コスト縮減策を検討しているか。				

山腹工詳細設計
成果物の照査項目一覧表
(照査③)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

山腹工

No.	項目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	安定計算書等	1) 安定計算が必要な構造物について、設計因子は適切か。 （安全率、コンクリートの単位体積重量、許容応力度、内部摩擦角、地盤般力と許容 応力との関係等） 2) 施工に配慮した安定条件となっているか。 3) 水路断面計算及び集水区域は適切か。				
3	詳細設計	1) 構造等は、特記仕様書等と整合しているか。 2) 木材、再生資材の使用は検討したか。 3) コスト縮減対策は検討したか。				
4	設計図	1) 縮尺は森林整備保全事業設計積算要領、共通仕様書、特記仕様書と整合しているか。 2) 平面図には必要な事項が明示されているか。（方位、BM、関連構造物等） 3) 構造物の基本寸法、計画高等は整合しているか。 4) 構造物の寸法等は適用基準（断面表）及び打ち合わせ事項と照合されているか。 5) 図面が明瞭に描かれているか。（線の区分等） 6) 各設計図間の整合がとれているか。 7) 既設構造物及び他所管施設は表示されているか。 8) 標準図及び定規図は作成されているか。 9) 設計図の標題は正しく表示されているか。 10) 各種寸法の基準は森林整備保全事業設計積算要領・治山技術基準・打合せ事項等と整 合しているか。（構造物の数量・方法、床掘寸法等） 11) 測点杭等の現地復原が可能な精度で作成されているか。				
5	数量計算書	1) 数量計算は森林整備保全事業設計積算要領、治山技術基準及び打合せ事項等と整合し ているか。（有効数字、位取り、単位、区分等） 2) 数量計算に用いた寸法は、図面と整合しているか。 3) 数量とりまとめは、工種、材料毎に行っているか。				
6	報告書	1) 報告書の構成は適切か。 2) 必要事項の記載漏れはないか。 3) 設計の根拠となる資料名等は記載されているか。 4) 設計条件の考え方が整理されているか。 5) 比較、検討の結果が整理されているか。 6) 工事発注に際しての留意事項等が記載されているか。				
7	成果物	1) 成果物一覧表の成果物が作成されているか。				

治山ダム詳細設計
基本条件の照査項目一覧表
(照査 ①)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

治山ダム

No.	項目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	業務目的、設計範囲等	1) 業務の目的、実施箇所及び設計の範囲等を理解しているか。 2) 全体計画がある場合、計画に準じて業務が遂行されるか。 3) 業務の主な作業、工程等を把握しているか。				
2	基本条件等	1) 計画する構造物の目的、型式及び種別等を理解しているか。 2) 設計単位は、SI単位系を使用しているか。 3) 安定計算の計算方法、許容値等は確認しているか。				
3	資料等の確認	1) 貸与資料に不足・追加する事項があるか。 2) 森林整備保全事業設計積算要領、治山技術基準等の内容を理解しているか。 3) 使用する資料は最新版となっているか。				
4	現地踏査	1) 地形、地質等を把握しているか。 2) 溪流の状況（流水、浸食、堆砂、石礫の径、流木の有無等）を把握しているか。 3) 樹木、植生等の状況を把握しているか。 4) 保全対象を把握しているか。 5) 既設構造物の状況を把握しているか。 6) 支障となる物件等の状況を把握しているか。 7) 用地の境界、他法令に係る区域等を確認しているか。 8) 周辺の土地利用状況を把握しているか。 9) 施工ヤード等に利用可能な箇所を把握しているか。 10) 景観状況（配慮の必要がある場合）を把握しているか。				
5	関係機関等との調整	1) 他の工作物管理者との調整内容を理解しているか。 2) 地元及び地権者との調整内容を理解しているか。				
6	環境等への配慮	1) 環境に対する配慮の必要性、方針、内容、範囲等を理解しているか。 2) 環境配慮の具体的方法、作成すべき資料等を把握しているか。				

治山ダム詳細設計
細部条件の照査項目一覧表
(照査 ②)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

治山ダム

No.	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	主要図面	1) 平面図（法線、取付等）は適切か。 2) 縦・横断面図は適切か。 3) 基本条件等との整合がとれているか。 4) 既設、次年度以降の計画及び他所管構造物等の関連は適切か。				
3	使用材料	1) 使用する材料に制約はあるか。 2) 現地材の利用可能性を検討しているか。 3) 使用材料の規格は基準と合致しているか。 4) 木材の積極的な利用を検討しているか。 5) 再生資材の利用を検討しているか。				
4	治山ダム本体	1) 設置目的は適切か。 2) 型式及び種別は、目的に応じた選定となっているか。 3) 設置位置は、目的に応じた適切な箇所に計画されているか。 4) ダムの方向は下流の流心線を予測した方向となっているか。 5) 計画勾配は、溪床を構成する砂礫の状況、流量等を考慮しているか。 6) 高さは、設置の目的、計画勾配、施工箇所等の状況等を考慮しているか。 7) 放水路の位置・形状は、設置箇所上下流の溪流の状況を考慮しているか。 8) 放水路断面は、適切に決定されているか。 9) 袖部は現地状況を勘案しているか。 10) 袖天端は越流を起こさないよう検討しているか。 11) 断面決定の方法は適切に行われているか。 12) 天端幅は現地の状況を勘案し、決定しているか。 13) 安定計算に用いる荷重及び設計因子は適切か。 14) 安定条件は全て満たされており、経済性も検討されているか。 15) 基礎の根入れ及び袖部の突っ込みは現地状況を勘案しているか。 16) 間詰、側壁等は現地状況を勘案しているか。 17) 水抜き個数及び施工位置は適切か。 18) 基礎の洗掘について検討しているか。 19) 伸縮継目の間隔、使用等は適切か。 20) 水平打継目は適切な方法で補強されているか。 21) 既設構造物等と整合しているか。				

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

治山ダム工

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
5	副ダム・水叩き等	1) 河床の状況に応じた形式となっているか。 2) 副ダムを計画する場合、施工目的が明確になっているか。 3) 本ダムと副ダムの重複高は、基準に基づいているか。 4) 水叩きの厚さは、基準に基づき計算されているか。 5) 本ダムと副ダム（垂直壁）の間隔は、基準に基づき計算されているか。 6) 側壁、護岸工は、目的に応じ使い分けがされているか。				
6	緑化工	1) 施工箇所の緑化方法は、現地状況を勘案し検討しているか。 2) 植栽木は、現地状況を勘案し、樹種等を検討しているか。				
7	施工計画	1) 施工方法、手順は適切か。 2) 運搬路、仮設道及び施工ヤード等の確保を検討しているか。 3) 付帯工として計画する工種はあるか。 4) 樹木、植生等への影響を考慮しているか。 5) 騒音、振動、排ガス、汚濁水等の影響を考慮しているか。				
8	コスト縮減	1) コスト縮減策を検討しているか。				
9	その他					

治山ダム詳細設計
成果物の照査項目一覧表
(照査 ③)

業 務 名 : _____

発 注 機 関 : _____

受 注 者 名 : _____

照 査 の 日 付 : _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

成果品の照査項目一覧表（様式-3）

治山ダム

No.	項目	主 要 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	安定計算書等	1) 安定計算が必要な構造物について、設計因子は適切か。 （安全率、コンクリートの単位体積重量、許容応力度、内部摩擦角、地盤般力と許容 応力との関係等） 2) 施工に配慮した安定条件となっているか。 3) 放水路断面計算及び集水区域は適切か。				
3	詳細設計	1) 構造等は特記仕様書等と整合しているか。 2) 木材、再生資材の使用は検討したか。 3) コスト縮減対策は検討したか。				
4	設計図	1) 縮尺は森林整備保全事業設計積算要領、共通仕様書、特記仕様書と整合しているか。 2) 平面図には必要な事項が明示されているか。（方位、BM、関連構造物等） 3) 構造物の基本寸法、計画高等は整合しているか。 4) 構造物の寸法等は適用基準（断面表）及び打ち合わせ事項と整合しているか。 5) 図面が明瞭に描かれているか。（線の区分等） 6) 各設計図間の整合がとれているか。 7) 既設構造物及び他所管施設は表示されているか。 8) 標準図及び定規図は作成されているか。 9) 設計図の標題は正しく表示されているか。 10) 各種寸法の基準は森林整備保全事業設計積算要領及び治山技術基準と整合している か。（構造物の数量・方法、床掘寸法等） 11) 測点杭等の現地復原が可能な精度で作成されているか。				
5	数量計算書	1) 数量計算は森林整備保全事業設計積算要領、治山技術基準及び打ち合わせ事項等と整合し ているか。（有効数字、位取り、単位、区分等） 2) 数量計算に用いた寸法は、図面と一致しているか。 3) 数量とりまとめは、工種、材料毎に行っているか。				
6	報告書	1) 報告書の構成は適切か。 2) 必要事項の記載漏れはないか。 3) 設計の根拠となる資料名等は記載されているか。 4) 設計条件の考え方が整理されているか。 5) 比較、検討の結果が整理されているか。 6) 工事発注に際しての留意事項が記載されているか。				
7	成果物	1) 成果物一覧表の成果物が作成されているか。				

護岸工・流路工詳細設計
基本条件の照査項目一覧表
(照査①)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

護岸工・流路工

No.	項目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	業務目的、設計範囲等	1) 業務の目的、実施箇所及び設計の範囲等を理解しているか。 2) 全体計画がある場合、計画に準じて業務が遂行されるか。 3) 業務の主な作業、工程等を把握しているか。				
2	基本条件等	1) 計画する構造物の目的、型式及び種別等を理解しているか。 2) 設計単位は、SI単位系を使用しているか。 3) 安定計算の計算方法、許容値等は確認しているか。				
3	資料等の確認	1) 貸与資料に不足・追加する事項があるか。 2) 森林整備保全事業設計積算要領、治山技術基準等の内容を理解しているか。 3) 使用する資料は最新版となっているか。				
4	現地踏査	1) 地形、地質等を把握しているか。 2) 溪流の状況（流水、浸食、堆砂、石礫の径、流木の有無等）を把握しているか。 3) 樹木、植生等の状況を把握しているか。 4) 保全対象を把握しているか。 5) 既設構造物の状況を把握しているか。 6) 支障となる物件等の状況を把握しているか。 7) 用地の境界、他法令に係る区域等を確認しているか。 8) 周辺の土地利用状況を把握しているか。 9) 施工ヤード等に利用可能な箇所を把握しているか。 10) 景観状況（配慮の必要がある場合）を把握しているか。				
5	関係機関等との調整	1) 他の工作物管理者との調整内容を理解しているか。 2) 地元及び地権者との調整内容を理解しているか。				
6	環境等への配慮	1) 環境に対する配慮の必要性、方針、内容、範囲等を理解しているか。 2) 環境配慮の具体的方法、作成すべき資料等を把握しているか。				

護岸工・流路工詳細設計
細部条件の照査表
(照査②)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

護岸工・流路工

No.	項 目	主 要 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	主要図面	1) 平面図（法線、取付等）は適切か。 2) 縦・横断面図は適切か。 3) 基本条件等との整合がとれているか。 4) 既設、次年度以降の計画及び他所管構造物等の関連は適切か。				
3	使用材料	1) 使用する材料に制約はあるか。 2) 現地材利用の可能性を検討しているか。 3) 使用材料の規格は基準に合致しているか。 4) 木材の積極的な利用を検討しているか。 5) 再生資材の利用を検討しているか。				
3	護岸工	1) 設置目的は適切か。 2) 種別は目的に応じた選定となっているか。 3) 設置位置及び法線は、目的に応じた適切な箇所に計画されているか。 4) 計画勾配は、溪床を構成する砂礫の状況、流量等を考慮しているか。 5) 天端高は、設置の目的や施工箇所の状況を考慮しているか。 6) 構造は背後の地形・地質等を考慮しているか。 7) 安定計算に用いる荷重及び設計因子は適切か。 8) 上下流部の取付け方法は適切か。 9) 基礎は洗掘を考慮した構造となっているか。 10) 施工方法に配慮しているか。				
4	流路工	1) 設置目的は適切か。 2) 種別は目的に応じた選定となっているか。 3) 設置位置及び法線は、目的に応じた適切な箇所に計画されているか。 4) 縦断線は、目的及び現地の状況を考慮し検討されているか。 5) 床固工の計画位置は、現地の状況を考慮し検討されているか。 6) 計画勾配は、溪床を構成する砂礫の状況、流量等を考慮し決定されているか。 7) 三面張流路工とする場合、理由は適切か。 8) 帯工の設置位置及び設置間隔は、適切な配置となっているか。 9) 流路工の計画断面は、適切に決定されているか。 10) 流路工の曲線部は、洪水時を考慮しているか。 11) 護岸工と床固工、帯工の取付けについて、適切な配置・構造となっているか。 12) 構造は背後の地形・地質等を考慮しているか。 13) 安定計算に用いる荷重及び設計因子は適切か。				

細部条件の照査項目一覧表（様式-2）

護岸工・流路工

No.	項 目	主 要 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
	流路工	14) 基礎は洗掘を考慮した構造となっているか。 15) 施工方法に配慮しているか。 16) 床固工を計画する場合、施工目的は適切か。 17) 床固工と帯工・垂直壁との重複高は、基準に基づいているか。 18) 水叩きの厚さは適切か。 19) 床固工と帯工・垂直壁との間隔は基準に基づいているか。				
5	緑化工	1) 施工箇所の緑化方法は、現地状況を勘案し検討されているか。 2) 植栽木は、現地状況を勘案し、樹種等を検討しているか。				
6	施工計画	1) 施工方法、手順は適切か。 2) 運搬路、仮設道及び施工ヤード等の確保を検討しているか。 3) 附帯工として計画する工種はあるか。				
7	コスト縮減	1) コスト縮減策を検討しているか。				
8	その他					

護岸工・流路工詳細設計
成果物の照査項目一覧表
(照査③)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

護岸工・流路工

No.	項 目	主 要 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	安定計算書等	1) 安定計算が必要な構造物について、設計因子は適切か。 （安全率、コンクリートの単位体積重量、許容応力度、内部摩擦角、地盤般力と許容 応力との関係等） 2) 施工に配慮した安定条件となっているか。 3) 放水路断面計算及び集水区域は適切か。				
3	詳細設計	1) 構造等は特記仕様書等と整合しているか。 2) 木材、再生資材の使用は検討したか。 3) コスト縮減対策は検討したか。				
4	設計図	1) 縮尺は森林整備保全事業設計積算要領、共通仕様書、特記仕様書と整合しているか。 2) 平面図には必要な事項が明示されているか。（方位、BM、関連構造物等） 3) 構造物の基本寸法、計画高等は整合しているか。 4) 構造物の寸法等は適用基準（断面表）及び打ち合わせ事項と整合しているか。 5) 図面が明瞭に描かれているか。（線の区分等） 6) 各設計図間の整合がとれているか。 7) 既設構造物及び他所管施設は表示されているか。 8) 標準図及び定規図は作成されているか。 9) 設計図の標題は正しく表示されているか。 10) 各種寸法の基準は森林整備保全事業設計積算要領及び治山技術基準と整合している か。（構造物の数量・方法、床掘寸法等） 11) 測点杭等の現地復原が可能な精度で作成されているか。				
5	数量計算書	1) 数量計算は森林整備保全事業設計積算要領、治山技術基準及び打合せ事項等と整合し ているか。（有効数字、位取り、単位、区分等） 2) 数量計算に用いた寸法は、図面と一致しているか。 3) 数量とりまとめは、工種、材料毎に行っているか。				
6	報告書	1) 報告書の構成は適切か。 2) 必要事項の記載漏れはないか。 3) 設計の根拠となる資料名等は記載されているか。 4) 設計条件の考え方が整理されているか。 5) 比較、検討の結果が整理されているか。 6) 工事発注に際しての留意事項が記載されているか。				
7	成果物	1) 成果物一覧表の成果物が作成されているか。				

海岸防災林詳細設計
基本条件の照査項目一覧表
(照査 ①)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

海 岸

No.	項 目	主 要 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	業務目的、設計範囲	1) 業務の目的、実施箇所及び設計の範囲等を理解しているか。 2) 全体計画がある場合、計画に準じて業務が遂行されるか。 3) 業務の主な作業、工程等を把握しているか。				
2	基本条件等	1) 計画する建造物の目的、型式及び種別等を理解しているか。 2) 設計単位は、SI単位系を使用しているか。 3) 安定計算の計算方法、許容値等は確認しているか。 4) 高さの基準を確認しているか。				
3	資料等の確認	1) 貸与資料に不足・追加する事項があるか。 2) 森林整備保全事業設計積算要領、治山技術基準等の内容を理解しているか。 3) 使用する資料は最新版となっているか。				
4	現地踏査	1) 地形、地質等を把握しているか。 2) 海岸の状況（砂浜海岸、岩礁海岸等）を把握しているか。 3) 樹木、植生等の状況を把握しているか。 4) 保全対象を把握しているか。 5) 既設建造物の状況を把握しているか。（形状、高さ、ブロック重量等） 6) 支障となる物件等の状況を把握しているか。 7) 用地の境界、他法令に係る区域等を確認しているか。 8) 周辺の土地利用状況を把握しているか。 9) 施工ヤード等に利用可能な用地を把握しているか。 10) 景観状況（配慮の必要がある場合）を把握しているか。				
5	関係機関等との調整状況	1) 他の工作物管理者との調整内容を理解しているか。 2) 地元及び地権者との調整内容を理解しているか。				
6	環境等への配慮	1) 環境への配慮の必要性、方針、内容、範囲等を理解しているか。 2) 環境に配慮する具体的方法、作成すべき資料等を把握しているか。				

海岸防災林詳細設計
細部条件の照査項目一覧表
(照査②)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

海岸

No.	項目	主 内 容	提示資料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	主要図面	1) 平面図（法線，取付等）は適切か。 2) 縦・横断面図は妥当か。 3) 基本条件等との整合がとれているか。 4) 既設，次年度以降の計画及び他所管構造物等との関連は適切か。				
3	使用材料	1) 使用する材料に制約はあるか。 2) 現地材の利用の可能性を検討しているか。 3) 使用材料の規格は基準と合致しているか。 4) 木材の積極的な利用を検討しているか。 5) 再生資材の利用を検討しているか。				
4	防潮護岸工	1) 工法選定の理由は適切か。 2) 型式及び種別の選定は適切か。 3) 設計潮位，設計波高は適切か。 4) 設置位置及び法線は適切か。 5) 天端高の算定は適切か。 6) 基礎工の選定は適切か。 7) 背後の排水処理は適切か。 8) 既設構造物への取付け方法は適切か。				
5	消波工・根固工	1) 工法選定の理由は適切か。 2) 設計潮位，設計波高は適切か。 3) 天端高の算定は適切か。 4) 基礎工の選定は適切か。 5) ブロック重量の算定は適切か。				
6	森林造成	1) 計画目的は適切か。				
	防風工	1) 設置位置及び方向等は適切か。 2) 計画高及び構造は適切か。				
	静砂工	1) 設置位置及び方向等は適切か。 2) 計画高及び構造は適切か。				
	植栽工	1) 樹種及び植栽本数は適切か。 2) 施肥，客土は適切か。 3) 敷わらの量は適切か。				

細部条件の照査項目一覧表（様式－2）

海 岸

No.	項 目	主 要 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
7	施工計画	1) 施工方法, 手順は適切か。 2) 運搬路, 仮設道及び施工ヤード等の確保を検討しているか。 3) 附帯工として計画する工種はあるか。 4) 騒音, 振動, 排ガス, 汚濁水等の影響を考慮しているか。				
8	コスト縮減	1) コスト縮減策を検討しているか。				
9	その他					

海岸防災林詳細設計
成果物の照査項目一覧表
(照査③)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

成果品の照査項目一覧表（様式-3）

海 岸

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	安定計算書等	1) 安定計算が必要な構造物について、設計因子は適切か。 （安全率、コンクリートの単位体積重量、許容応力度、内部摩擦角、地盤般力と許容応力との関係等） 2) 天端高算定結果は、隣接海岸及び背後地盤高と整合がとれているか。 3) 施工に配慮した安定条件となっているか。				
3	詳細設計	1) 構造等は特記仕様書等と整合しているか。 2) 木材、再生資材の使用は検討したか。 3) コスト縮減対策は検討したか。				
4	設計図	1) 縮尺は森林整備保全事業設計積算要領、共通仕様書、特記仕様書と整合しているか。 2) 平面図には必要な事項が明示されているか。（方位、BM、既設・関連構造物等） 3) 潮位及び地質等の設計条件が図面に明示されているか。 4) 構造物の形状・寸法及び計画高等は整合しているか。 5) 構造物の寸法等は、適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 6) 図面が明瞭に描かれているか。（線の区分等） 7) 各設計図間の整合がとれているか。 8) 標準図及び定規図は作成されているか。 9) 設計図の標題は正しく表示されているか。 10) 測点杭等の現地復原が可能な精度で作成されているか。				
5	数量計算書	1) 数量計算は、森林整備保全事業設計積算要領、治山技術基準、特記仕様書と整合しているか。（有効数字、位取り、単位、区分等） 2) 数量計算に用いた寸法は、図面と一致しているか。 3) 数量取りまとめは、工種、材料毎に行っているか。				
6	報告書	1) 報告書の構成は適切か。 2) 必要事項の記載漏れはないか。 3) 設計の根拠となる資料名等は記載されているか。 4) 設計条件の考え方が整理されているか。 5) 比較、検討の結果が整理されているか。 6) 工事の発注に際しての留意事項等が記載されているか。				
7	成果物	1) 成果物一覧表の成果物が作成されているか。				

保安林整備詳細設計
基本条件の照査項目一覧表
(照査 ①)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

保安林整備

No.	項目	主 要 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	業務目的, 設計範囲	1) 業務の目的, 実施箇所及び設計の範囲等を理解しているか。 2) 全体計画がある場合, 計画に準じて業務が遂行されるか。 3) 業務の主な作業, 工程等を把握しているか。				
2	基本条件等	1) 計画する工種・工法は妥当か。 2) 設計単位は, SI単位系を使用しているか。 3) 森林造成計画, 保育計画は目標林型に沿った計画となっているか。 4) 林分密度, 収量比数計算の算定方法は妥当か。 5) 簡易構造物は現地発生材を利用しているか。				
3	資料等の確認	1) 貸与資料に不足・追加する事項があるか。 2) 森林整備保全事業設計積算要領, 治山技術基準等の内容を理解しているか。 3) 使用する資料は最新版となっているか。				
4	現地踏査	1) 地形, 地質及び転石等の現地状況を把握しているか。 2) 斜面（近隣斜面含む）の崩壊状況を把握しているか。 3) 樹木, 植生等の状況を把握しているか。 4) 樹種界, 標準値の位置は妥当か。 5) 保全対象を把握しているか。 6) 既設構造物等の状況を把握しているか。 7) 支障となる物件等の状況を把握しているか。 8) 用地の境界, 他法令に係る区域等を確認しているか。 9) 周辺の土地利用状況を把握しているか。 10) 施工ヤード等に利用可能な箇所を把握しているか。 11) 景観状況（配慮の必要がある場合）を把握しているか。				
5	関係機関等との調整状況	1) 他の工作物管理者との調整内容を理解しているか。 2) 地元及び地権者との調整内容を理解しているか。				
6	環境等への配慮	1) 環境への配慮の必要性, 方針, 内容, 範囲等を理解しているか。 2) 環境に配慮する具体的方法, 作成すべき資料等を把握しているか。				

保安林整備詳細設計
細部条件の照査項目一覧表
(照査②)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式-2）

保安林整備

No.	項目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	主要図面	1) 平面図（法線、取付等）は適切か。 2) 縦・横断面図は妥当か。 3) 基本条件等との整合がとれているか。 4) 既設、次年度以降の計画及び他所管構造物等との関連は適切か。				
3	使用材料	1) 使用する材料に制約はあるか。 2) 現地材の利用の可能性を検討しているか。 3) 使用材料の規格は基準と合致しているか。 4) 木材の積極的な利用を検討しているか。 5) 再生資材の利用を検討しているか。				
4	植栽工	1) 目的は適切か。 2) 樹種選定は、現地状況を考慮し決定しているか。 3) 植栽本数は、現地状況を考慮し決定しているか。 4) 主林木と肥料木の割合は適切か。 5) 植栽箇所の選定は適切か。 6) 施肥、客土は適切か。 7) 敷わらの量は適切か。				
5	本数調整伐	1) 目的は適切か。 2) 対象エリアは、現地状況を考慮し決定しているか。 3) 伐採率は、現地状況を考慮し決定しているか。				
6	土留工	1) 設置目的は適切か。 2) 種別の選定は適切か。 3) 位置、高さ及び方向は適切か。 4) 土留工の平面法線は現地形に沿っているか。 5) 断面決定は適切に行われているか。 6) 安定条件は満たされており、経済性も検討されているか。 7) 水抜き配置等は、治山技術基準及び現地状況を考慮しているか。 8) 裏込は設けているか。 9) 湧水等への配慮がされているか。 10) 景観に配慮しているか。 11) 施工方法に配慮しているか。				

細部条件の照査項目一覧表（様式－2）

保安林整備

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
7	防風工	1) 設置位置及び方向等は適切か。 2) 計画高及び構造は適切か。				
8	静砂工	1) 設置位置及び方向等は適切か。 2) 計画高及び構造は適切か。				
9	柵工・筋工	1) 種別、資材及び防腐処理等は、現地状況を考慮し決定しているか。 2) 設置間隔は現地状況を考慮し決定しているか。				
10	施工計画	1) 施工方法、手順は適切か。 2) 運搬路、仮設道及び施工ヤード等の確保を検討しているか。 3) 附帯工として計画する工種はあるか。 4) 騒音、振動、排ガス、汚濁水等の影響を考慮しているか。				
11	コスト縮減	1) コスト縮減策を検討しているか。				
12	その他					

保安林整備詳細設計
成果物の照査項目一覧表
(照査③)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

成果品の照査項目一覧表（様式-3）

保安林整備

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査		備 考
				対 象	確 認	
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。				
2	安定計算書等	1) 安定計算が必要な構造物について、設計因子は適切か。 （安全率、コンクリートの単位体積重量、許容応力度、内部摩擦角、地盤般力と許容応力との関係等） 2) 施工に配慮した安定条件となっているか。				
3	詳細設計	1) 構造等は特記仕様書等と整合しているか。 2) 木材、再生資材の使用は検討したか。 3) コスト縮減対策は検討したか。				
4	設計図	1) 縮尺は森林整備保全事業設計積算要領、共通仕様書、特記仕様書と整合しているか。 2) 平面図には必要な事項が明示されているか。（方位、BM、既設・関連構造物等） 3) 構造物の形状・寸法及び計画高等は整合しているか。 4) 構造物の寸法等は、適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 5) 図面が明瞭に描かれているか。（線の区分等） 6) 各設計図間の整合がとれているか。 7) 標準図及び定規図は作成されているか。 8) 設計図の標題は正しく表示されているか。 9) 測点杭等の現地復原が可能な精度で作成されているか。				
5	数量計算書	1) 数量計算は、森林整備保全事業設計積算要領、治山技術基準、特記仕様書と整合しているか。（有効数字、位取り、単位、区分等） 2) 数量計算に用いた寸法は、図面と一致しているか。 3) 数量取りまとめは、工種、材料毎に行っているか。				
6	報告書	1) 報告書の構成は適切か。 2) 必要事項の記載漏れはないか。 3) 設計の根拠となる資料名等は記載されているか。 4) 設計条件の考え方が整理されているか。 5) 比較、検討の結果が整理されているか。 6) 工事の発注に際しての留意事項等が記載されているか。				
7	成果物	1) 成果物一覧表の成果物が作成されているか。				

道路詳細設計（小構造物を含む）
基本条件の点検項目一覧表
（照査①）

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

基本条件の点検項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	設計の目的、主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。 3) 設計の主な項目、工程等について具体的内容を把握したか。				
2	貸与資料の確認	1) 貸与資料の不足、追加事項があるか。 2) 事務所、路線毎に統一された基準要領があるか。				
3	現地踏査結果	1) 地形、地質、用・排水、土地利用等現地状況を把握したか。 2) 交通状況、道路状況、河川状況を把握したか。 3) 沿道の環境状況(日照、騒音、振動等)を把握したか。 4) 支障物件の状況を把握したか。 (地下埋設物を含む) 5) 施工時の留意事項を把握したか。				
4	設計条件	1) 道路規格を確認したか。 2) 設計速度を確認したか。 3) 計画交通量を確認したか。 4) 横断面構成を確認したか。 5) 適用基準を確認したか。 6) 関連する設計と整合がとれているか。				
5	施工区分	1) 暫定施工時の施工区分を把握したか。 2) 現道拡幅時の施工区分を把握したか。				
6	幾何構造、線形条件	1) 平面及び縦断の設計値は適正か。 2) 幾何構造の使用値は適正か。 3) 橋、トンネル坑口等の取合いを配慮したか。 4) 幅員構成は適正か。 (標準幅員、積雪寒冷地との整合)				

基本条件の点検項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
7	用地条件	1) 用地上の巾杭表はあるか。				
8	土工及び法面工	1) 土質定数の設定、湧水状況等の把握は適正か。 2) 法面勾配等は適正か。 3) 地すべり等の切土部安定検討は適正か。 4) 切土材料は盛土材料に転用できるのか。 5) 特殊法面工の必要性はあるか。 6) 土砂の処理場及び採取場の把握はしてあるか。 7) 環境や景観に関して考慮しているか。				
9	軟弱地盤	1) 軟弱地盤対策は適正か。 2) 盛土の施工期間及び施工方法(迂回路計画等)は決まっているか。 3) 基本盛土施工厚と施工工程とのバランスがとれている(地盤強度増加と施工時及び完成後の盛土の安定性) 4) 残留沈下量と交通解放時期の基本方針は決定している 5) 地質調査は目的にあった調査、解析をしているか。 6) 盛土材の土質試験はしてあるか。また、その土質定数は把握しているか。 7) 計画線形(平面、縦断計画)の見直し、あるいは他の構造(高架等)が考えられないか。 8) 環境、用地に対する制限はないか。 9) 置き換え残土の処理場はあるか。 10) 側方流動の影響を受ける構造物(擁壁、橋台等)はない				

基本条件の点検項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
10	函渠工	1) 標準設計の適用方法は適正か。 2) 同上を適用しないときは応力計算力i必要か。 3) 自動設計の適用方法は適正か。 4) プレキャスト製品の適用方法は適正か。 5) 施工条件を考慮しているか。 6) 縦断方向のすべりに対する対策は必要か。 7) 踏掛版の要・不要の確認。 8) 防護柵の要・不要の確認。（内空断面の再確認） 9) 土被りの条件は妥当か。土被りの変化が大きい箇所での断面変化は考慮してあるか。 10) 土質定数の決定根拠は明確になっているか。 11) 地盤条件(支持力, 地下水位等)は整理してあるか。 12) 設計計算の条件は妥当か。計算式の適用は確認されているか。（プログラム等） 13) 適用する設計基準は確認されているか。				
11	擁壁工	1) 所要高さ決定の根拠は適正か。 2) 型式選定の根拠は適正か。 3) 線形の変更, 用地の利用等によって擁壁の規模縮小が可能であるかどうか工夫したか。 4) 標準設計の適用方法は適正か。 5) 同上を適用しないときは応力計算が必要か。 6) 自動設計の適用方法は適正か。 7) プレキャスト製品の適用は適正か。 8) 用地境界までの余裕幅を確認したか。 9) 土質定数の決定根拠は明確になっているか。 10) 基礎型式選定のための地盤条件は整理されているか。 11) 現道交通, 隣接家屋への影響を配慮したか。 12) 全体的なすべりの安定性は確認したか。 13) 設計計算の条件は妥当か。計算式の適用は確認されているか。（プログラム等） 14) 適用する設計基準は確認されているか。				

基本条件の点検項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
12	排水工	1) 流出量の算定は妥当か。 (集水域, 流出係数, 降雨強度, 確率年, 算定式) 2) 通水量の算定は妥当か。(粗度係数等) 3) 施設選定は妥当か。 (経済性, 施工性, 機能性, 計画性) ①パイプとボックス ②pcパイプ, ヒューム管及びコルゲート管 ③基礎型式選定の適否 4) 断面決定で余裕が見込んであるか。 5) 排水勾配(流速の許容範囲)は妥当か。 6) 最小土被りの設定は妥当か。 7) 協議関係は必要か。				
13	排水処理	1) 用水系統は適正か。 2) 排水系統は適正か。 3) 流末位置は適正か。				
14	舗装工	1) 舗装種別及び構造の適用(交通量, 設計CBR)に問題はないか。 2) 再生材の使用は考慮されているか。 3) 特別箇所(軟弱地盤, 低盛土等)の路床改良の要否。 4) 防護柵等道路付属物の配置及び規格は適正か。				

基本条件の点検項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
15	小型構造物	1) 標準設計の適用方法は適正か。 2) 重力式擁壁，ブロック積等を設ける理由，型式高さ等決定根拠は明確か。 3) プレキャスト製品の適用は適正か。				
16	関連道路 (側道，副道，取付交通)	1) 幅員，延長，断面等は適正か。 2) 沿道に対する高さ等の取合は考慮してあるか。 3) 舗装構成は決定しているか。				
17	環境及び景観検討	1) 環境及び景観検討の必要性，範囲，コンセプトが理解されたか。 2) 環境及び景観検討の具体的方法，作成すべき資料等は明らかとなっているか。				
18	防雪対策	1) 雪崩，地吹雪対策は考慮されているか。				
19	協議関連資料	1) 交差協議の調整は確認したか。 2) 地元及び地権者との調整は確認したか。 3) バス路線になるかどうか確認したか。 4) 地下占有企業者との調整は確認したか。 5) 保安林及び埋蔵文化財等との調整は確認したか。 6) 各県公害防止条例の適用区域及び規制値を確認したか。 7) 都市計画及び土地利用を確認したか。 8) 上位計画，開発行為及び電線類地中化を確認したか。 9) 土砂の処理場，または土取場の位置，規模は確認したか。 10) 休憩施設，チェーン着脱場等の計画は確認したか。				
20	コスト縮減	1) 予備設計で提案されたコスト縮減設計留意書を確認したか。				

道路詳細設計（小構造物を含む）
細部条件の点検項目一覧表
（照査②）

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の点検項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	協議関連	1) 協議は諸条件と合致しているか。				
2	施工計画	1) 工区分けは適正か。（暫定施工の有無を含む） 2) 施工性に問題はないか。 3) 暫定施工の考え方に問題はないか。 4) 建設副産物の処理方法は適正か。リサイクル計画書を考慮したか。				
3	設計計算	1) 片勾配、拡幅のすりつけに問題はないか。 2) 用・排水の系統及び通水断面に問題はないか。 3) 既存・類似設計との設計条件、適用範囲を比較確認しているか。				
4	数量計算	1) 数量算出要領により確認を行ったか。				
5	土工及び法面	1) 切土断面の岩盤推定線は妥当か。 2) 用地の余裕幅は適正か。 3) 法面保護工の選定は適正か。 4) 切土材料と盛土材料への転用は適正か。				
6	軟弱地盤	1) 土質定数は整理されているか。 2) 盛土工程は適切か。（一般盛土部、構造物、水路切り廻し等） 3) 対策工の必要性と工種及びその範囲は適正か。 ①盛土安定対策 ②沈下対策 ③その他対策 4) サンドマットの厚さは施工性を考慮したか。 5) 動態観測の計画は作成されているか。 6) 暗渠排水計画（形状、間隔）は適正か。				

細部条件の点検項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
6	軟弱地盤	7) 沈下量を土量計算しているか。 8) 用・排水路で沈下すると不都合なものはないか。 ある場合はその対策。				
7	函渠工	1) 本体長、伸縮目地の決定方法は適正か。 2) 軟弱地盤上に構築される場合の鉛直土圧係数は考慮してあるか。(杭基礎などの場合) 3) 沈下の大きい場所での特別な処置(段落ち防止枕等) 4) 不等沈下はないか。 5) 斜角のつく場合の考慮をしてあるか。 (斜角部の設計方法) 6) 踏掛版の形状、寸法は適正か。 7) 基礎工の選定は適正か。 8) 標準設計適用以外の応力チェックはされているか。 9) ハンチを付さない場合、その対策はしてあるか。 10) ウイング厚と本体厚のバランスはとれているか。 11) 防水工は考慮されているか。 12) 照明配管、排水は考慮されているか。 13) 配筋に対するチェックはされているか。 14) 管理上の問題は残されていないか。 (道路、水路等) 15) 現場打ちとプレキャストの使い分けは適正か。				
8	擁壁工	1) 標準設計適用以外の応力チェックはされているか。 2) 擁壁高さの決定、地山の取合、底面の勾配は適正か。 3) 背面土の適用は適正か。(施工時の安定性等) 4) 目地間隔は適正か。 5) 液状化の検討は適正か。				

細部条件の点検項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
8	擁壁工	6) 基礎工の選定は適正か。 ・直接基礎(地盤反力, 安定, 置換深さ等) ・杭基礎(杭間隔, 杭種, 杭径, 定着方式等) 7) 根入れ深さは適正か(土質条件, 水の影響), 斜面部での余裕幅は適正か。 8) 地下水, 湧水等の処理について考慮してあるか。 9) 施工性を考えた構造となっているか。 (地形その他の現場条件による機械の選定条件等) 10) 応力計算時の常時, 地震時の選択は適正か。 11) 配筋に対するチェックはされているか。				
9	排水工	1) 排水施設相互及び道路施設との取合いは考慮されているか。 2) 安全対策(蓋, 防護柵等)は考慮されているか。 3) 流末はチェックされているか。(流末河川のHWLより下の場合の対策が行われているか。) 4) 排水系統を変更していないか。 5) 現場打ちとプレキャストの使い分けは適正か。 6) 設計区間外の施設との取合いは考慮されているか。 7) 既設水路等の付替えは, 必要に応じ切廻しを検討してあるか。 8) その他				
10	舗装工	1) 舗装工の設計は適正か。 2) 段階施工のできる設計となっているか。 3) 再生材の使用は適正か。 4) その他				

細部条件の点検項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
11	小構造物	1) 標準設計適用以外のものの応力概略チェックはされているか。 2) その他				
12	仮設構造物	1) 山留め形式の選定は適切か。 （現道拡幅時の仮設，構造物掘削の工法） 2) 安全性の確保，施工性，現地との整合，近接構造物との関係に配慮したか。 3) ボイリング，ヒービング，盤ぶくれ等の検討をしたか。 4) 指定仮設・任意仮設の区分は適切か。				
13	環境及び景観検討	1) 環境（騒音，振動）面の対応は適正か。 2) 景観（植栽等）性は妥当か。				
14	コスト縮減	1) 予備設計で提案されたコスト縮減設計留意書について検討したか				

道路詳細設計（小構造物を含む）
成果物の点検項目一覧表
（照査③）

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果物の点検項目一覧表（照査③）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 安定計算結果は許容値を満たすか。 3) 許容応力度の取り方は正しいか。 4) 用排水の流出量と通水量を照査したか。 5) 隣接工区との整合はとれているか。				
2	設計図	1) 縮尺は契約図書と整合しているか。 2) 打合せ事項は反映されているか。 3) 構造物(函渠、擁壁等)の全体一般図に必要な項目は記載されているか。(設計条件、地質条件等) 4) 表現方法は適正か。 5) 解り易い注記がついているか。 6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。				
3	数量計算書	1) 数量計算は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等) 2) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。 3) 数量取りまとめは、種類毎に、材料毎に、打合せ区分毎にまとめられているか。				
4	施工方法の検討	1) 施工時の道路、河川等の切り廻し計画は適正か。 2) 工事用道路、運搬路計画は適正か。 3) 施工ヤード、施エスペースは確保されているか。 4) 安全性は配慮されているか。 5) 暫定計画、完成計画との整合はとれているか。				
5	設計調書	1) 調書の記入は、適正にされているか。 2) マクロ的(設計条件、幾何構造基準、構造物の寸法及び概略数量)に見て問題はないか。				

道路詳細設計（平面交差点，小構造物を含む）
基本条件の点検項目一覧表
（照査①）

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

基本条件の点検項目一覧表（照査①）

〔道路詳細設計と重複するものは、点検の必要ない〕

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	設計の目的、主旨	1) 目的、主旨は理解したか。 2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。 3) 設計の内容、範囲、工程等について具体的に把握した				
2	資料の収集、確認 (1)予備設計に関する資料	1) 予備設計の計画は適正か。 2) 貸与資料の不足点、追加事項があるか。 3) 事務所、路線毎に統一された基準要領はあるか。				
3	現地踏査結果	1) 地形、地物、現地状況を把握したか。 2) 交通状況、道路状況、河川状況を把握したか。 3) 交差道路の規制状況を確認したか。 4) 沿道の環境状況（日照、騒音、振動等）を把握したか。 5) 支障物件の状況を把握したか。 （地下埋設物を含む） 6) 大規模交通発生施設、歩行者の動線を把握したか。 7) 施工時の注意事項を把握したか。				
4	設計条件	1) 道路の構造、規格は適正か。 2) 交差点の設計速度は適正か。 3) 交差点形状は適正か。 4) 平面交差の間隔は適正か。 5) 方向別交通量は適正か。 6) 交差点制御方法は適正か。 7) 設計車両は適正か。 8) 積雪寒冷地の適用は適正か。 （幅員、除雪スペース等） 9) 歩行者の動線は適正か。 10) 関連する設計と整合がとれているか。				

基本条件の点検項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
5	幾何構造	1) 平面及び縦断線形は適正か。 2) 幅員構成は適正か。 3) 視距，見通し距離は適正か。 4) 付加車線の設置は適正か。 5) 交差角は適正か。 6) 本線シフトは適正か。 7) 隅切りは適正か。				
6	用地条件	1) 用地巾杭表はあるか。				
7	関連道路(側道，副道，取付支道)	1) 主，従道路の優先関係は明確となっているか。 2) 副道等の取付方法は適正か。 3) 従道路の整備は適正か。				
8	交通制御と交通処理	1) 信号現示と交差点飽和度は適正か。 2) 交差点交通容量は適正か。 3) 交通処理方法は適正か。 4) 横断歩道及び停止線位置は適正か。 5) バス停留所の位置，停車帯の形状等は適正か。 6) 沿道からの出入り箇所は適正か。				
9	計画条件の整理	1) 土工及び法面工の計画は適正か。 (道路詳細設計との整合) 2) 小構造物及び構造物の計画は適正か。 (道路詳細設計との整合) 3) 用，排水工の計画は適正か。 (道路詳細設計との整合) 4) 舗装工の計画は適正か。 (道路詳細設計との整合)				

道路詳細設計（平面交差点，小構造物を含む）
細部条件の点検項目一覧表
（照査②）

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

受注者印	照査技術者	管理技術者

細部条件の点検項目一覧表（点検②）

[道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない]

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	協議関係	1) 協議は諸条件と合致しているか。				
2	施工計画	1) 工区分けは妥当か。（暫定施工の有無を含む） 2) 施工性に問題はないか。 3) 暫定施工の考え方に問題はないか。 4) 現道交通確保の安全性に問題はないか。				
3	設計計算	1) 交通処理能力に問題はないか。 2) 用、排水の系統及び通水断面に問題はないか。				
4	数量計算	1) 数量算出要領により確認を行ったか。				
5	詳細検討	1) 中央分離帯の位置は適正か。 2) 導流路及び歩道の巻き込みは適正か。 3) 路面標示は適正か。 4) 付加車線等の諸元は適正か。 5) 信号、照明、交通管理施設、安全施設等の設置計画は適正か。 6) 交通制御面で近接する交差点との整合性はとれているか。 7) 積雪寒冷地の対応は適正か。 8) 道路詳細設計と整合はとれているか。 9) 土工及び法面工の設計は適正か。 （道路詳細設計と整合） 10) 小構造物及び構造物の設計は適正か。 （道路詳細設計と整合） 11) 用、排水工の設計は適正か。 （道路詳細設計と整合） 12) 舗装工の設計は適正か。 （道路詳細設計と整合）				

細部条件の点検項目一覧表（点検②）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
		13) 用地幅は適正か。 (道路詳細設計と整合)				
6	環境及び景観検討	1) 環境(騒音, 振動)面の対応は妥当か。 2) 景観(植栽等)性は妥当か。				

道路詳細設計（平面交差点，小構造物を含む）

成果物の点検項目一覧表

（照査③）

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果物の点検項目一覧表（照査③）

〔道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない〕

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は交通処理能力を満たすか。 3) 用, 排水の流出量と通水量を照査したか。 (道路詳細設計と整合)				
2	設計図	1) 縮尺は契約図書と整合しているか。 2) 打合せ事項は反映されているか。 3) 全体一般図に必要な事項が記載されているか。 4) 表現方法は適切か。 5) 解り易い注記が付いているか。 6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。				
3	数量計算書	1) 数量計算は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。(有効数字, 位取り, 単位, 区分等) 2) 数量計算に用いた記号, 寸法は図面と一致するか。 3) 数量取りまとめは, 種類毎に, 材料毎に, 打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工方法の検討	1) 施工時の道路, 河川等の切廻し計画は妥当か。 2) 工事用道路, 運搬路計画は妥当か。 3) 施工ヤード, 施エスペースは確保されているか。 4) 安全性は配慮されているか。 5) 暫定計画と完成計画は整合がとれているか。				
5	設計調書	1) 調書の記入は, 適正にされているか。 2) マクロ的(設計条件, 幾何構造基準等)に見て問題はないか。				

橋梁詳細設計
基本条件の照査項目一覧表
(照査①)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	設計の目的, 主旨	1) 目的, 主旨は理解したか。 2) 地域構想等の関連する上位計画を把握したか。 3) 設計の主な項目, 工程について具体的内容を把握した				
2	貸与資料の問題点	貸与資料の不足及び追加事項はあるか。				
	現地踏査	1) 地形, 地質, 気象, 現地状況は把握したか。 2) 交通状況, 河川状況は把握したか。 3) 環境状況(振動, 騒音等の配慮)は把握したか。 4) 支障物件の状況は把握したか。 5) 施工時の注意事項は把握したか。				
4	設計基本条件	1) 予備設計成果において, 構造形式の選定は適正か。 (経済性, 安全性, 施工性, 景観性, 総合評価等) 2) 構造形式(支承形式含む), 橋長, スパン割り, 遊間は適正か。 3) 重要度の区分(A種の橋, B種の橋)は適正か。 4) 荷重条件(設計時, 施工時)は適正か。 5) 特殊荷重の位置, 大きさは確認したか。 6) 施工条件の基本は確認したか。(時期, スペース, 環境, 交通条件, 安全性の確保, 近接施工, 部材の輸送条件) 7) 使用すべき設計基準は把握したか。 8) 新工法, 新技術の採用の検討が必要か。 9) 暫定計画, 将来計画と整合しているか。 10) 塩害に対する検討を確認したか。 11) 雪処理の方法を確認したか。 12) 関連する設計, 示方書等と整合がとれているか。 13) 鋼道路橋設計ガイドライン(案)の適用を検討したか。				

基本条件の照査項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	点検		備考
				対象	確認	
5	幾何構造，線形条件	1) 幅員構成，幅員変化，平面線形は適正か， 2) 縦断線形は適正か。 3) 座標系と基準点は適正か。				
6	橋面工，付属工の 基本条件	1) 横断勾配，舗装厚は適正か。 2) 歩道構造は適正か。 3) 地覆，高欄は適正か。 4) 遮音壁は適正か。 5) 落下防止柵は適正か。 6) 照明柱，標識柱は適正か。 7) 排水工は適正か。 8) 伸縮装置の選定は適正か。（ゴム伸縮継手の可能性を 確認したか） 9) 検査路は必要か，設置位置は適正か。 10) 支承タイプは適正か。（タイプA，タイプB） 11) 支承構造は適正か。（免震，反力分散，固定可動） 12) 踏掛板は適正か。 13) 護岸工は適正か。 14) 適用基準は適正か。 15) 落橋防止システムの選定は適正か。 （橋軸方向，橋軸直角方向） 16) その他付属構造物を設置する必要があるか。				
7	交差条件	1) 河川条件は満足するか。 （基準径間長，阻害率，流心方向，桁下余裕，堤防 定規断面等） 2) 道路交差条件は満足するか。 （建築限界，桁下余裕，平面線形，桁架設法等） 3) 鉄道交差条件は満足するか。 （建築限界，桁下余裕，平面線形，桁架設法， 架線処理方法等） 4) 支障物件への対応方法の検討の必要性は確認したか。 5) 交差協議に関わる協議資料作成の種類と内容は確認 したか。 6) フーチングの土かぶりは適切か。（交差条件等）				

基本条件の照査項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	点検		備考
				対象	確認	
8	地盤条件	1) 土質定数の設定は妥当か。 2) 支持力、地盤バネ値の設定は妥当か。 3) 水位、水圧の評価は妥当か。 4) 構造図と柱状図との位置関係は妥当か。 5) 軟弱地盤として検討する必要性を確認したか。 6) 液状化及び流動化の有無を確認したか。 7) 地盤から決まる許容支持力は妥当か。 8) 支持層が岩の場合の考え方は妥当か。 9) 支持層の設定位置は妥当か。				
9	耐震検討	1) 耐震検討は妥当か。(固有周期、地域別補正係数、地盤種別、等価水平震度、設計水平震度等) 2) 設計振動単位が適正か。 3) 免震設計の検討の必要性を確認したか。 4) 動的解析の必要性を確認したか。 (地震時の挙動が複雑な橋) 5) 地震力を分散させる構造系を配慮しているか。				
10	地形条件	1) 用地境界は確認したか。 2) 施工ヤードスペースは確認したか。 3) 資機材運搬路は確保できるか。				
11	使用材料	1) 使用材料と規格、許容応力度は妥当か。 (鋼、コンクリート、PC等) 2) 特殊材料の供給条件は確認したか。 3) 耐候性鋼材の使用は可能か。				
12	環境及び景観検討	1) 環境及び景観検討の必要性、デザインコンセプト、範囲等は理解したか。 2) 環境及び景観検討の検討の具体的方法、作成すべき資料等は明らかとなっているか。				

橋梁詳細設計
細部条件の照査項目一覧表
(照査②)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	点検		備考
				対象	確認	
1	上部構造	1) 適用基準は正しいか。				
		2) 支承条件及び地盤条件と橋梁形式は整合しているか。				
		3) 解析上のモデル化は妥当か。				
		4) 桁配置は妥当か。				
		5) 構造高は妥当か。				
		6) 桁端部と桁遊間は妥当か。				
		7) 床板厚, 床組は妥当か。				
		8) 解析法(適用プログラム, 構造モデル)は適切か。				
		9) 架設法を設計に考慮したか。 (運搬路, 部材長, 部材重量, 架設方法と順序, 施工ヤード, 施工スペース, 架設時の構造系等)				
		10) 材料使用区分は妥当か。 (鋼材, コンクリート, 鉄筋)				
		11) 構造細目は妥当か。 (鉄筋かぶり, ピッチ, 継手, 折り曲げ位置, フック形状等) (断面変化位置, 鋼板厚, 板幅, 材料使用区分, 継手部, 補剛材, 取付部等)				
		12) 橋面舗装厚, 付属工(検査路等)の計画変更はないか。				
		13) 支承, 落橋防止システム, 伸縮装置, 高欄等の設計条件は適切か。				
		14) 塩害対策は適切か。				
		15) 防水工は適切か。				
		16) 塗装系は適切か。				
		17) 添架物の支持方法は適切か。				
2	下部構造	1) 適用基準は正しいか。				
		2) 橋台, 橋脚の位置・形状は適正か。				
		3) 支承条件.(E, F, M)は妥当か。				
		4) 支承縁端距離は確保されているか。				
		5) けたかかり長は確保されているか。				
		6) 形状, 寸法の基本的統一は計られているか。				

細部条件の照査項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	点検		備考
				対象	確認	
		7) 裏込土、埋戻土の種類と土圧係数は妥当か。 8) 施工法は配慮しているか。 (運搬路、施工法と順序、施工ヤード、施工スペース 施行区分、コンクリート打設のロット割等) 9) 材料使用区分は妥当か。 10) 構造細目は妥当か。(鉄筋かぶり、ピッチ、継手、折り 曲げ位置、フック形状等) 11) 橋脚の地震時保有水平耐力及び応答塑性率、残留変位を 確認したか。 12) 段違い橋脚の場合、段違い部や桁端部の構造を検討した か。 13) 地下水の変動は確認したか。				
3	基礎構造	1) 適用基準は正しいか。 2) 基礎形式は妥当か。 (直接基礎、杭、ケーソン、ウェル等) 3) 形式、寸法は妥当か。(杭であれば、杭種、杭径等) 4) 支持層への根入れは妥当か。 5) 液状化及び流動化の検討は妥当か。 6) 軟弱地盤の場合、橋台の側方移動、圧密沈下量、杭の ネガティブフリクションの照査を行ったか。 7) 近接施工の問題はないか。 8) 設計理論と解析手法は妥当か。 9) 施工法は妥当か。 (運搬路、施工法と順序、施工ヤード等) 10) 材料使用区分は妥当か。 11) 構造細目は妥当か。 (鉄筋かぶり、ピッチ、継手、折り曲げ位置、フック 形状、杭頭処理等) 12) 埋設物との取合いは問題ないか。 13) 地盤改良の必要性を確認したか。 14) 耐震設計上の基盤面、地盤面は適切か。 15) 土質定数は妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	点検		備考
				対象	確認	
		16) 基礎の地震時保有水平耐力及び応答塑性率，残留変位を確認したか。				
4	付属構造物 (道路標識，照明， 添架物，遮音壁等)	1) 選定形式，位置，寸法は妥当か。 2) 適用基準は正しいか。 3) プレキャスト化，二次製品の使用等を配慮しているか。 4) 使用実績はあるか。 5) 維持管理性は配慮したか。 6) 本体との取合いは妥当か。 7) 通信管路及び照明用電源管路は計画されているか。 8) 照明配置は妥当か。 9) 景観を配慮しているか。 10) 排水計算は行われているか。 11) 路面排水の流末処理は妥当か。 (二次排水を考慮しているか)				
5	仮設構造物	1) 仮設構造物詳細設計照査要領による。				
6	その他	埋設物，支障物件，周辺施設との近接等，施工条件が設計計画に反映されているか。				
7	コスト縮減	1) 予備設計で作成されたリサイクル計画書について検討したか。				
8	建設副産物対策	1) 建設副産物の処理方法は適正か。 2) リサイクル計画書を考慮したか。				

橋梁詳細設計
成果物の照査項目一覧表
(照査③)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果物の照査項目一覧表（照査③）

NO	項目	主な内容	提示資料	点検		備考
				対象	確認	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算上の仮定値と設計値との差は妥当か。 3) 上部工の床版，主桁の応力度は許容値を満たしているか。 4) 下部工，基礎工の各部応力及び安定計算結果は許容値を満たしているか。 5) 許容応力度の取り方は正しいか。 6) 荷重の組合わせと割増し係数は妥当か。 7) 二次応力を計算する必要は無いか。 8) 破壊安全度の照査をしたか。 9) 座屈規定に基づく計算がされているか。 10) 施工条件を配慮した計算となっているか。 11) 最小鉄筋量等構造細目は正しいか。 12) 所要のじん性を確保するための帯鉄筋を配置しているか。				
2	設計図	1) 縮尺は共通仕様書と整合しているか。 2) 一般図には必要な項目が記載されているか。 (設計条件，地質条件，建築限界等) 3) 構造図の基本寸法，座標値，高さ関係は照合されているか。 4) 設計計算書との整合は図られているか。 5) 構造詳細は適用基準及び標準構造と整合しているか。 6) 取り合い部の構造寸法は適正か。 7) 解り易い注記がついているか。 8) 付属物の形式，配置，取り合いは妥当か。 9) 各設計図が互いに整合されているか。 ・一般平面図と縦断図 ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図 10) 使用材料は明記されているか。				

成果物の照査項目一覧表（照査③）

NO	項目	主な内容	提示資料	点検		備考
				対象	確認	
		1) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算, 安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合されているか) ・壁厚 ・鉄筋(径ピッチ, 使用材料, ラップ位置, ラップ長, 主鉄筋の定着長, ガス圧接位置) ・鋼材形状寸法 ・使用材料 ・その他				
3	数量計算書	1) 数量計算書は数量算出要領及び打合わせ事項と整合しているか。(有効数字, 位取り, 単位, 区分等) 2) 数量計算に用いた寸法, 数値は図面と一致するか。 3) 数量取りまとめは種類毎, 材料毎に打合わせ区分に合わせてまとめられているか。 4) 橋台の後打ちコンクリートを分離して計上しているか。				
4	施工法検討	1) 施工時の道路・河川等の切廻し計画は妥当か。 2) 工事用道路, 運搬路計画は妥当か。 3) 施工ヤード, 施工スペースは確保されているか。 4) 部材長, 部材寸法, 部材重量は適正か。 5) 施工法, 施工順序は妥当か。 6) 支保工, 仮設備等は妥当か。 7) 施工工程は妥当か。 8) 経済性は配慮されているか。 9) 安全確保は配慮されているか。 10) 環境対策は配慮されているか。 11) 工事用仮設電源は検討されているか。 12) 施工機械の種類, 規格は適切か。				

成果物の照査項目一覧表（照査③）

NO	項目	主な内容	提示資料	点検		備考
				対象	確認	
5	設計調書	1) 調書の記入は適正にされているか。 2) マクロ的に見て問題ないか。 (主要寸法, 主要数値 (例, m2当たりコンクリート量 m3当たり鉄筋量等) を類似例, 一般例と比較する)				
6	報告書	1) 打合わせ事項は反映されているか。 2) 条件設定の考え方が整合しているか。 3) 比較・検討の結果が整理されているか。 4) 工事発注に際しての留意事項が記述されているか。				
7	建設副産物対策	1) リサイクル計画書を作成しているか。				
8	TECRISの登録	TECRISの登録はされたか。				

共同溝詳細設計
基本条件の照査項目一覧表
(照査①)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	設計の目的・主旨 範囲，内容 数量，履行期間	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 設計の範囲，内容，数量，履行期間を把握したか。 3) 隣接工区との関係は確認したか。				
2	貸与資料の確認	貸与資料の不足点，追加事項はあるか。 (軟弱地盤における各種検討に必要なデータがあるか。)				
3	現地踏査	1) 地形(おぼれ谷，旧河川等)，地質などの自然状況を把握したか。 2) 沿道，交差物件，道路，交通，用地条件を把握したか。 3) 環境状況(振動，騒音，井戸使用等の配慮面)を把握したか。 4) 支障物件の状況を把握したか。 5) 施工時の注意事項を把握したか。				
4	適用基準	適用基準の確認はされているか。				
5	使用材料	使用材料の規格，許容応力度は適正か。				
6	設計基本条件	1) 一般部，特殊部，換気口部等の構造形式及び断面計画は適正か。またプレキャスト工法との比較検討はされているか。(経済性，安全性，機能性，施工性，維持管理，環境等が考慮されているか。) 2) 特殊部の配慮は(ケーブルジョイント，換気口，分岐，材投口等)適正か。 3) 荷重条件(設計時，施工時)は適正か。 4) 特殊荷重の位置，大きさは確認したか。 5) 施工条件の基本を確認したか。 6) 関連事業計画と詳細調整は図られているか。 7) 既設埋設物，危険物貯蔵タンク，近接構造物の位置，形状は確認したか。 8) 参画公益事業者に収容数，内空断面及び特殊部の配置の確認がなされたか。 9) 関連する設計との整合はとれているか。				

基本条件の照査項目一覧表（照査①）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
7	幾何構造，線形条件	1) 線形上のコントロールポイント及び条件は明確にされているか。 2) 一般部，特殊部，換気部の内空は適正に把握しているか。 3) 平面線形は適正か。 4) 縦断線形は適正か。 5) 座標系と基準点は確認したか。 6) 起点，終点の計画(隣接工区との接続計画)は適正か。				
8	地盤条件	1) 土質定数の設定は適正か。隣接工区との整合は図られているか。 2) 支持力，地盤バネ値の設定は適正か。 (地盤改良した場合，その効果を考慮しているか。) 3) 地下水位，地下水の評価は適正か。 4) 液状化の判定は適正か。 5) 地盤内間隙水圧の判定は適正か。				
9	特殊検討	1) 交差物件の検討方針，条件は適正か。 2) 近接施工対策の検討方針，条件は適正か。 3) 本体縦断の検討方針，条件は適正か。 4) 大規模山留設計の条件は適正か。 5) 耐震の検討方針，条件は適正か。 6) 軟弱地盤の検討方針，条件は適正か。 7) その他の特殊検討の検討方針，条件は適正か。				
10	継手，防水	1) 継手の方式は適正か。(地盤条件が考慮されているか。) 2) 防水の方式は適正か。 3) 継手の位置は適正か。				
11	コスト縮減	1) 予備設計で提案されたコスト，縮減設計留意書を確認したか。				
12	建設副産物対策	1) 予備設計で作成されたリサイクル計画書を確認したか。				

共同溝詳細設計
細部条件の照査項目一覧表
(照査②)

業務名 : _____

発注機関 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	線形（平面，縦断）	1) 共同溝中心線は計画通り正しいか。 2) 起点，終点部の位置は正しいか。 3) 危険物貯蔵タンクを考慮した線形になっているか。 4) 既設構造物及び将来計画構造物との離隔は施工性，交通処理を含め，協議によって決定されているか。 5) 移設不可能な埋設物との離隔は施工性が考慮されているか。 6) 官民境界までの離隔は所定の離隔以上確保されているか。 7) 特殊部の位置は適正か。 8) 屈曲点において，パイプ等の搬入が可能か。また，ハンチは適正か。 9) 換気口部のピッチ及び立ち上がり位置は適正か。 10) 隣接工区との整合は図られているか。 11) ブロック割りは適正か。 12) 一般部の土被りは所定の深さ以上確保されているか。 13) 特殊部の土被りは所定の深さ以上確保されているか。 14) 一般部の勾配は排水勾配を確保されているか。 15) 急勾配区間の勾配は適正であるか。 16) 道路勾配を考慮し，土被りが最小となるよう経済的か機能的に計画されているか。 17) 排水ピットの位置は適正か。 18) 軟弱地盤に対して配慮されているか。				
2	荷重条件	1) 舗装構成は正しいか。 2) 地下水位の設定は適正か。 3) 各単位重量及び活荷重は適正か。 4) 静止土圧係数は適正か。（軟弱地盤は考慮されている）				

細部条件の照査項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
3	本体構造物	1) 適用基準は適正か。 2) 設計断面の位置及び適用範囲は適正か。 3) 設計モデルは適正か。 4) 設計断面の内空形状寸法は適正か。 5) 仮設時を考慮しているか。 6) 使用材料、許容応力度は適正か。 7) 各部材厚、使用鉄筋及び間隔は適正か。 8) 材料使用区分は適正か。 9) 継手の構造形状、材質は適正か。 (軟弱地盤を配慮しているか。) 10) 防水工の材質は適正か。 11) 施工方法(コンクリート打設量、打継自位置等)を配慮しているか。 12) 配管、配線時に発生する特殊荷重を考慮しているか。 13) 圧密沈下量は適正か。 14) 耐震設計(縦断方向、液状化による浮き上がり)は考慮されているか。 15) 基礎構造は適正か。(直接基礎の場合、地盤の支持は充分にあるか) 16) 換気口部は防災を考慮した構造になっているか。 (油等が流入しない構造、積雪による閉塞をまねかない構造) 17) 軟弱地盤対策は適正か。 18) 防水扉は適切な配置となっているか。(河川の横断部) 19) 継手部の位置は適切か。 20) 換気設備設置箇所の断面は、換気設備の寸法を考慮しているか。 21) 換気口部の構造は雨水の流入防止対策を考慮したものとなっているか。 22) 自然強制換気口の設置位置は適切か。				

細部条件の照査項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
4	換気設備	1) 換気口の出入り口は所定の風速以下となっているか。 2) 洞道内風速は所定の風速以下となっているか。 3) 電力用洞道換気的设计条件は適正か。 4) 換気所要時間は所定の時間以内となっているか。 5) 計算結果からファン仕様の選定は適正か。 6) 換気ファンの設置、交換時を考慮した形状となっているか。 7) 騒音の検討は行われているか。				
5	排水設備	1) 排水量の算定計算は正しいか。 2) 排水溝の幅、深さは適正か。 3) 排水ピットの位置、集水量、形状は適正か。 4) 排水管径、排水ルートは適正か。 5) 流末処理は適正か。				
6	付属物	1) 各種付属物の設計は適正か。 2) 隣接工区と仕様は一致しているか。				
7	仮設工法の選定	1) 沿道条件、交通処理方法を検討しているか。 ・昼夜間作業帯の設定 ・使用機種の設定 ・歩道切削 2) 地質、地下水対応が適正であるか。 3) 既設構造物への影響が少ない工法であるか。 4) 既設構造物の許容変位は設定されているか。また、その変状防止対策方法は妥当であるか。 5) 経済性、施工性、安全性の面から総合的に工法の比較選定が行われているか。				
8	仮設構造物	1) 設計断面位置、幅及び深さは正しいか。 2) 適用基準は正しいか。 3) 材料の選定は適正か。（リース材、生材等について）				

細部条件の照査項目一覧表（照査②）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
		4) 切ばり，腹起しの設置は施工性も考慮した適正な配慮となっているか。 5) 土質条件の設定は適正か。 （地盤改良した場合，影響を考慮しているか。） 6) 地下水位の設定は適正か。 7) 載荷重の選定は適正か。 8) 覆工版の材質及び形状寸法は適正か。 9) 無覆工，覆工の判断は適正か。 10) 山留め形式の選定は適正か。 11) 山留め区分(中規模土留め，中規模締切り，大規模山留め)は適正か。 12) 土圧，水圧荷重の設定値は適正か。 13) 中間杭の位置，ピッチ及び施工性は適正か。 14) 根入れ長さの計算は必要項目の計算がされているのか。 15) ポイリング，ヒービング及び盤ぶくれの検討はされているか。 16) 補助工法の選定，範囲は適正か。				
9	特殊検討部	1) 線形計画で特殊検討部となった理由は明確か。 2) 沿道条件，交通対策，地層，地質条件等から施工可能な工法か。 3) 対策案は適切に検討されているか。				
10	施工計画	1) 施工方法及び順序(本体，仮設)は適正か。 2) 交通処理計画は適正か。 3) 特殊検討部の施工は適正か。 4) 同時施工は配慮されているか。 5) 環境への配慮はされているか。 6) 建設副産物の処理方法は適正か。（リサイクル計画書を考慮したか） 7) 支障埋設物件は考慮されているか。				
11	コスト縮減対策	1) 予備設計で提案されたコスト縮減設計留意書について検討したか。				

共同溝詳細設計
成果物の照査項目一覧表
(照査③)

業務名： _____

発注機関： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果物の照査項目一覧表（照査③）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
1	設計報告書 (設計計算書, 設計計画書, 施工計画書等)	1) 打ち合わせ事項は反映されているか。 2) 設計条件, 施工条件は適正に運用されているか。 3) インプットされた値は適正か。 4) 設計結果は許容範囲内, かつ, 許容応力度及び使用単位は適正か。 5) 報告書の構成は適正か。 6) 図・表の表示は適正か。				
2	設計図	1) 縮尺, 用紙サイズ等は共通仕様書, または, 特記仕様書と整合されているか。 2) 打ち合わせ事項は反映されているか。 3) 必要寸法, 部材形状及び寸法等にもれはないか。 4) 全ての図面において平面と縦断面図, あるいは平面図と横断面図等とが整合しているか。 5) 各設計図がお互いに整合されているか。 ・一般平面図と縦断面図 ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図 6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算, 安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合されているか。) ・壁厚 ・鉄筋(径, ピッチ, 使用材料, ラップ位置, ラップ長, 主鉄筋の定着長, ガス圧接位置) ・鋼材形状, 寸法 ・使用材料 ・その他 7) 附属金物類が適正に配置されているか。足りないものはないか。また余分なものはないか。 8) 構造物の施工性に問題はないか。 9) 寸法・記号等の表示は適正か。				

成果物の照査項目一覧表（照査③）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				対象	確認	
3	数量計算書	1) 数量計算は数量算出要領または打ち合わせ事項と整合しているか。 (工種分類, 単位, 有効数字, 位取り, 区分等) 2) 数量計算に用いた数値は, 設計図面と一致しているか。 3) 数量全体総括, 工区総括, ブロック総括等, 打ち合わせと整合し, かつ転記ミスや集計ミスがないか。 4) 各ブロック毎の数量的バランスは適正か。 5) 使用する材料の規格及び強度等は記入されているか。				
4	設計調書	1) 調書の記入は適正か。 2) マクロ的 (他工事区等とオーダー的に比較して) に見て問題はないか。				
5	建設副産物	1) リサイクル計画書を作成しているか。				
6	TECRISの登録	1) TECRISの登録はされたか。				